

【科目名】作業分析学		【担当教員】 田中善信 (メールアドレス) y.tanaka@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 【木曜日】13：00～18：00
【授業区分】 専門分野 (基礎作業学)	【授業コード】 4-21-0815-0-1	
【開講時期】 2 年次 後期	【選択必修】 必修	
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 今後、作業療法理論を実践に活かすために必要な科目です。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・ 作業療法概論、基礎作業学で学んだ内容をしっかりと復習してください。 ・ 講義で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーしてもらってください。 ・ 講義中の板書、スライドの携帯電話での撮影は禁止します。		
【講義概要】 (目的) これまで学んだ作業療法の理論を整理し、さらに作業療法の全体理論を学ぶ。 作業療法の臨床場面でどのような理論を用いているのかを理解することにより、治療技術としての作業療法の理解を深めることを目的とする。 (方法) 作業療法のいくつかの理論を基にした事例報告を提示し、その問題解決の過程を分析する。		
【一般教育目標(GIO)】 作業療法のいくつかの理論を基にした事例報告を提示し、その問題解決の過程を分析する。 【行動目標(SBO)】 作業療法の大理論の概要を述べるができる。 作業療法の大理論を応用した文献を読み、いかに理論を用い実践を行っているのかを述べるができる。		
【教科書・リザーブドブック】 ・ 吉川ひろみ「「作業」って何だろう 作業科学入門」医歯薬出版 2008 年 2,200 円（税別） ・ 山根寛「ひとと作業・作業活動 作業の知をとき技を育む 新版」三輪書店 2015 年 ・ 適宜、必要な文献を提示する		
【参考書】 ・ 齋藤佑樹「作業で語る事例報告：作業療法レジメの書きかた・考えかた」医学書院 2014 年 ・ 山田孝 「人間作業モデル 理論と応用 改訂第 4 版」協同医書出版社 2012 年 ・ 山田孝 「事例でわかる人間作業モデル」協同医書出版社 2015 年 ・ 山田孝（翻訳）「作業療法実践の理論 原著第 4 版」医学書院 2014 年 4,700 円		

平成 26～28 年度入学者用

- ・ エリザベス・タウンゼント「続 作業療法の視点 作業を通しての健康と公正」大学教育出版 2011 年 3,800 円（税別）
- ・ Ruth Zemke「作業科学 作業的存在としての人間の研究」三輪書店 1999 年 9,500 円（税別）
- ・ 作業療法学概論、基礎作業学で用いたテキストを参考にする

【評価に関わる情報】

(評価の基準・方法)

- ・ 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。
- ・ 成績評価は、期末試験およびレポート点・小テスト・演習により総合的に評価する。
- ・ 小テストの内容は前回の講義の内容について出題する。

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		70	15	15					100 点
評価指標	取り込む力・知識	50	10	5					65
	思考・推論・創造の力	20	5	10					35
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	・コースオリエンテーション ・作業療法の作業の捉え方 (作業科学を中心に)	講義	教科書① (p1-41) を読んでおくこと。 《小テスト (予習)》 作業科学に関する内容について実施する。	30
2	・自分の作業を知る (activity bar を用いた作業の分析) ・作業と健康 (作業的存在としての捉え方を演習する)	講義・演習	《課題 I》 Activity Bar の用紙に、最近 1 週間の平日と休日における自分の作業について記入し、持参すること。	30
3	・作業の力 (障害を持つ人の作業について考える)	講義・演習	VTR を視聴し、ワーク課題を通して考察する。ワーク課題は、講義内レポートとして終了後に提出する。	30
4	・作業分析の概要	講義・演習	教科書② (p132-189) を読んでおくこと。 《小テスト (予習)》 作業分析の概要などについて実施する。	30
5	・カナダ作業遂行モデル(CMOP)① (理論と実践)	講義	《課題 II》 事前学習として、CMOP の概要についてレポートにまとめ、第 4 回講義終了	120
6	・カナダ作業遂行モデル(CMOP)②	講義・演習		

平成 26～28 年度入学用

	(事例検討)		後に提出すること	
7	・人間作業モデル(MOHO)① (理論と実践)	講義	《課題Ⅲ》 事前学習として、MOHO の概要についてレポート にまとめ、第 6 回講義終了 後に提出すること	120
8	・人間作業モデル(MOHO)② (事例検討)	講義・演習		

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。